

農業の魅力・みどり戦略を農業高等学校の生徒へ伝える

次代を担う農業高等学校の生徒に日本の農業の魅力や農業が直面している問題、みどりの食料システム戦略への理解を深めてもらうために、出前授業を実施

○ 施策分類

新規就農、みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

農業人口は年々減少しており、新規就農者の確保が急務である。農業を学ぶ高等学校の生徒に農業の魅力が伝えられるような取組を考えた。

また、みどりの食料システム戦略の実現のために、次代を担う生徒に理解を深めてもらいたいと考えた。

○ 取組の内容

農業高等学校の生徒が、農業を魅力のある産業と認識し、将来職業として農業を選択してもらえよう、県内の農業高等学校と連携して取組内容を検討。「農業の未来は明るい」ということを伝えられるような授業の構成を考え、県内若手農業者に農業の魅力・やりがい等をインタビュー形式で聞き取り、その様子を動画にまとめ出前授業で上映した。

また、みどりの食料システム戦略の実現に向けて理解を深めるため、消費者の立場で実践できるみどり戦略の取組を説明した。

○ 効果・成果、今後の方向性

生徒は真剣に授業を聞いており、日本の農業が直面している問題について考えてくれた。この授業が生徒の「食」や「農」について考えるきっかけになった。

今後は農業高等学校だけでなく、県内の小学校・中学校・高等学校へ向けて出前授業の場を拡大することを検討している。



授業の様子

体制図

